



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年06月09日 第1220号「週刊五十嵐レポート」

## メード・イン・ジャパン

6月2日付日経新聞、「Leader's Voice」はメーカーズシャツ鎌倉の貞末奈名子社長。「海外で稼ぎ、製造現場に還元」。

国内で縫製工場の閉鎖が続き、衣料品の生産も減っている。繊維業界の先行きが懸念される中、メーカーズシャツ鎌倉の貞末社長は、「海外で稼ぎ、製造業現場に対価をしっかり払っていくことが重要だ」と話す。

仕事着のカジュアル化が進み、ワイシャツ市場は縮小傾向にある。セレクトショップはワイシャツの取り扱いを減らし、カジュアル化を進めている。そのためワイシャツを買うお店が少なくなってメーカーズシャツ鎌倉が受け皿になっている部分もある。ネクタイを扱う店舗は少なくなったが、同社のネクタイの売上は落ちていない。

競合との差別化はどうしているか。値段とモノ作りへのこだわり。同社は素材から開発し、縫製も細部までこだわりがある。大量生産のブランドに比べて圧倒的にコストパフォーマンスが高い。海外で利益を出し、(日本の)製造現場に還元する。縫製工場を金銭面でも働き甲斐のある職場にしていく必要がある。アパレル産業は日本では斜陽産業と言われがちだが、やり方次第では儲けられる。業界でも最高水準と言われるような給料や働きやすい環境を作っていく。そうすれば若い人が業界に入ってきてくれるはず。

15年前、ベトナム視察ツアーを数回行った。そこで見たのは、日系企業の涙ぐましい努力だった。日本へ品質は良くし、価格も安く提供するために中国からベトナムへ移行する時期(チャイナ・プラスワン)だった。しかし、違和感もあった。メード・イン・ジャパンはどうなるのか。空洞化がはじまった。現在、日本の人手不足・人材不足は空洞化の影響も多分にある。

2016年に墨田区の縫製会社の社長たち有志とメード・イン・イタリアの企業を視察した。そこには情熱と手作りのこだわりがあった。中国・アジアに負けない。

では、メード・イン・ジャパンとは何か。そこで働く人たちが豊かであること。付加価値の高い商品・サービスの提供。観光もメード・イン・ジャパン。

ちょっと  
気になる出来事

6月2日付日経新聞、「失った30年 教訓残す」という記事。

トランプ米政権の高関税政策が世界を揺さぶる。日本は国内市場の縮小と巨大な米市場への輸出で補ってきただけに影響は大きい。夏の参院選を前に財政出動圧力は高まる。食品の消費税率の引き下げ案がくすぶる。8%を仮にゼロにすると、税収は約5兆円減る。国民1人当りの減税額は約4万円。

コロナ禍で1人一律10万円を配った。以来、現金給付を求める声上がる。甘え癖はなかなか抜けない。1990年度60兆円だった一般会計予算は今や当初から110兆円を超える。財政拡張は日本の底上げにつながっていない。この間に経済の地力を示す潜在成長率は3.7%から0.3%に落ち込んだ。

過去30年で米国や英国は実質賃金が1.5倍近くに、ドイツやフランスは1.3倍に増えた。日本は横ばい。お金のバラマキにより経済は弱くなった。成長分野に人とお金を集中して投下することが望ましい。

企業経営においても分散投資は、経営力を弱める。一点集中が強くなる。では、どの一点に集中すべきか。ここに社長の実力が試される。



一口メモ  
知識

## 学習と思索

人から知識を教わるだけで自分の頭を使って考えなければ、本当に理解したとは言えないし、かといって、自分一人で考えて満足していると独断に陥ってしまう。両者の兼ね合いが何とも難しいポイントだよ。

子曰く、学んで思わざれば則ち罔(くら)し、思うて学ばざれば則ち殆(あや)うし。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

